

令和5年度足立区子育て支援サービス利用者負担適正化審議会 第1回会議
における各委員からの意見のまとめについて

1 第1子保育料について

- (1) 国・都の動向を踏まえて、今後、第1子保育料についても支援が必要かと思う。
- (2) 保護者と子どもの間には「閉塞感」があって、誰かに託したいが託せる人がいない。そこを助ける支援や、第1子の保育料を安くするなどの政策を充実させてほしい。
- (3) 第1子を区立保育園に預けている。第2子がクローズアップされており、第1子はなかなか手が回らないのかもしれないが、保育料は自身の生活が変わってしまう値段なので、もう少し安くなってくればいいと思う。

2 保育料第2子無償化により増加が見込まれる歳入の使途について

- (1) 区に入ってくる財源は、子育て支援やそれぞれの施設が抱える課題の解消に向けて使っていただくよう進めていただきたい。
- (2) 今後、受け入れ側の事業者（保育園）、保育士への支援も大事になってくると思う。
- (3) 保育士を増やしたいが確保が難しく、保育士資格のない保育補助を雇用している状況である。保育補助の方は扶養の範囲内（80時間/月、4時間/日）で働きたいという方がほとんどで、この方々に対する補助金がなく、96時間以上であれば1名に限り補助金を出せるという。人手の確保と施設運営で苦労しており、第2子無償化で区の支出が抑えられるとのことなので、保育補助の支援や良い保育ができるよう区は努力してほしい。
- (4) 先生方はいつ休憩しているのかと思うほど、すごく忙しく動いている。財源の話が出たので、先生方のケアをしてあげてほしい。
- (5) 保育施設で働く方への支援策や研修システムを充実させ、保育の質を担保してほしい。

3 その他

- (1) 私立幼稚園の利用者への補助の拡充も10月から開始とのことで、役所には早めに準備をお願いしたい。
- (2) 令和元年10月から開始した「幼児教育・保育の無償化」で家計等にどのような影響があったか、との事前質問により国の回答が示されているが、今後は足立区の状況を利用者や事業者にも調査する必要があるのではないか。
- (3) 政府が「こども誰でも通園制度」を打ち出した。区には今までやっていた一時保育の枠だけなのか、拡大してできるのかを検討していただきたい。
- (4) 従事する人がいれば良いということではなく、同じ保育の方向性を持った人でないと現場でずれが生じてしまう。子どものため、より良い保育を実施するために、色々と助けてあげられないかと思う。
- (5) 事前質問の回答より、43%にあたるお子さんは保育施設・幼稚園に通っていないとのことであるが、これらの方々は子育てに「閉塞感」を感じていないか、虐待などのニュースを見ていると心配になるので、区が状況把握をしていけば、もっと足立区で子育てしたいという方も増えていくのではないかと。
- (6) 国の保育士配置基準から変えてほしい。
- (7) 幼稚園の入園手続きの時期と、保育園の入園が決まる時期が離れている。保育園に入れなかったから幼稚園にという方もいるので、できれば同じ時期にしてほしい。